

第10回都市基盤整備分科会

2006年7月24日

1. 議事次第

■ 分科会は合計2時間で行います

次第	時間	内容
1 開会	5分	①挨拶 ②出欠確認(出欠表の記入) ③前回の検討内容(議事録・整理表)の確認
2 検討の進め方	10分	①検討の進め方に関する説明 ②本日の目標確認
3 話し合い	90分	
4 とりまとめ	10分	
5 閉会	5分	①次回の内容 ②次回の日程 ③意見・質問 ④最終総括(会長)

2. 本日の分科会の目標

- 前回の検討結果を確認します。
- 引き続き、施策の検討を行ってみます

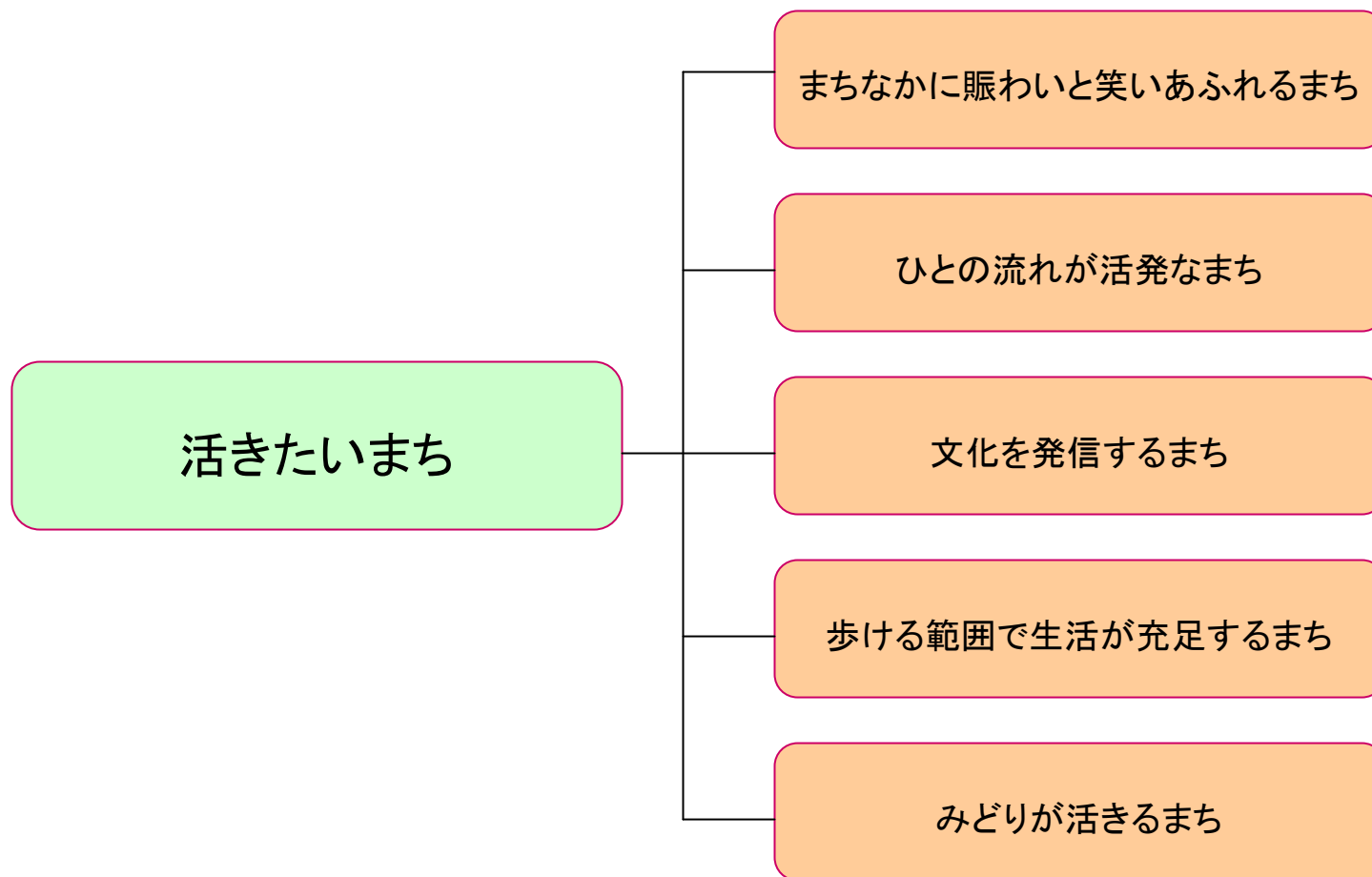
3. これまでの議論の確認

都市づくり(都市基盤整備)の基本理念(第5回分科会)

これから15年後に向けての宇都宮市の都市づくり(都市基盤整備)の基本理念と方向

めざす都市像

都市基盤整備の基本方向



3. これまでの議論の確認

都市基盤分野の重点課題(第6回分科会検討結果)

課題	背景・理由	やるべきこと
JR駅周辺と東武駅周辺のまちの顔の形成	●市外からの玄関として重要であり、まちとしての風格に大きく影響する。 ●中心市街地の活性化が求められている。 ●観光客への魅力づけが求められており、まちの顔として対外的に発信する必要がある。	●西口駅前広場の景観、構造、動線の見直し(田川まで含めて) ●オリオン通りの再生 ●ばんばの復活、笑いを提供する舞台の整備
楽しく乗れる公共交通への再編	●バスのサービス水準が悪く、魅力がないため、利用するための動機付けが中々働かない。 ●後期高齢者が増加し、公共交通の利便性向上が求められている。 ●バス・鉄道利用者が減少している。	●JR新駅の検討、JRと東武の乗換駅の新設検討 ●LRT等の検討(是非も含めて) ●バスサービスの改善(エリア料金制、乗換割引、接客の改善、など)
地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進	●既存樹木の再生は不可能となりつつあり、再度見直す必要がある。 ●歴史資源の活用、PRを行う事により、まちの魅力を向上させる必要がある。また、そのために、資源を再発見する等の教育が必要である。	●八幡山公園の再整備 ●蔵のまちの形成 ●大谷の観光地としての再生 ●釜川周辺の再整備
魅力ある生活拠点の形成	●地域の顔の形成が求められている。 ●地域生活の中心核が確立されていない。 ●市町村合併をにらんで生活拠点の充実・整備が求められている。	●東、西、南、北拠点の整備
(市民生活におけるITの積極的活用)	●長寿社会におけるニーズに応じたサービスの提供が求められている。 *ITについては基盤整備の時代は終わり活用推進が課題。都市基盤分野で1項目として取り上げる意味は薄い。	●地域情報の発信 ●教育、文化での活用

4. 進め方の確認 (1) 施策・事業の検討 ① 検討の流れ

施策・事業は以下の流れで検討します

< 施策・事業の検討手順 >

Step1.

重点課題を解決するための施策目標を検討する

Step2.

施策目標を実現するための施策(手段)を検討する

Step3.

施策(手段)を支える具体的な方法(事業)を検討する

(1) 施策・事業の検討 ② 施策目標の検討

➡ Step2: それぞれの利害関係者にどのような状態になってほしいのかを記述します

利害関係者	女性	高齢者 (特に75歳以上)	子ども	男女子育て世代	観光客ビジター	通勤者
なって欲しい状態	・花や緑が多い。 ・ファッションブルである。 ・歩きやすく、移動しやすい。 ・防犯上安全で、明るい。	・歩きやすく、公共交通機関で移動しやすい。	・野外で安全に安心して遊ぶことができる。 ・楽しい。	・子どもを預けられる安全な場所が十分に用意されている。 ・母親が安心して働ける環境が整っている。	・見る場所がたくさんある。 ・街並みが美しい。 ・市民が魅力的である。	・鉄道サービスの利便性が高い。
提供すべき行政サービス ・提供価値	・街路灯を増やす。 ・ファッションセンスのある街並み形成	・ユニバーサルデザインのまちづくりを進める。	・子どもが外で遊べる環境の形成	・子育て、保育環境の整備（住宅やオフィスへオ保育施設の併用など） ・ファミリーフレンドリー企業の推奨	・二荒山神社、仲見世、宇都宮城などを回遊する観光ルートの整備 ・清澄町通りのまちなみ回復 ・大谷地区の観光拠点としての魅力アップ ・観光拠点間のアクセス向上	・新駅の設置 ・駅から勤務先までの公共交通機関が便利である。 ・駅周辺の機能が充実している。
	・公共交通体系の再編、一方交通の導入 ・ごみの出し方のマナー改善					

(1) 施策・事業の検討 ② 施策目標の検討

➡ Step2: それぞれの利害関係者にどのような状態になってほしいのかを記述します

利害関係者	地元中小商店	大企業（潜在的立地企業を含む）	交通事業者
なって欲しい状態	・元気な個人商店ががんばっている。	・交通渋滞をなくっている。 ・立地がしやすいような税制優遇が整っている。	・環境にやさしい車両が走り、市民に支持されている。
提供すべき行政サービス ・提供価値	・ユニークな個人商店の紹介 ・歩いて楽しい商店街の形成	・都心ー工場間の渋滞緩和、公共交通の利便性の向上 ・工場新設、拡張に関する税制優遇の実施	・環境配慮車への転換の支援

(1) 施策・事業の検討：都市整備分野

施策目標	施策	事業
市内外の人に対してJR宇都宮駅周辺を宇都宮市の顔として景観形成を図る		バス停、タクシー乗場、歩行者デッキ等、西口駅前広場の再整備
		美しい駅前景観の形成（派手な広告看板、老朽ビルの撤去、緑の形成）
		八幡山回遊路の整備
		宇都宮タワー見学とセットになったワンコインバスの開設
		ゆったりした植物園の整備
		お洒落な喫茶店、レストランの開設
地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進	市民が憩えるような空間としての八幡山の活用	宇都宮タワーの夜間開放（NPOへの運営委託）
		ジャズフェスティバルの定期開催
		競輪場の一般開放

(1) 施策・事業の検討：都市整備分野

施策目標	施策	事業
地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進	釜川周辺の再整備	自動車乗入禁止と遊歩道化 釜川に沿って快適に歩ける環境の形成 （横断歩道の整備、歩きやすい平坦な道づくり） お洒落な照明、イルミネーションの実施 景観に配慮した安全柵の整備 遊歩道の始点、終点の拠点化 釜川と田川の遊歩道のネットワーク フリーマーケット、屋台などイベントの実施

(1) 施策・事業の検討：都市整備分野

施策目標	施策	事業
地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進	蔵のまちの形成	蔵の景観保全地域の指定（中心市街地） 蔵の取り壊し事前申請制度の導入
	大谷の観光地としての再生	